

大学院同窓会は 研究助成の 支援もします

大学院同窓会では、各支部の活動支援とともに、在学生や修了生の学生生活や研究活動を支援、推進できるような支援を行っています。今回は、その中から「修了生・卒業生に対する研究助成」と「海外教育特別研究への支援」についてご紹介します。

修了生・卒業生に対する研究助成

修了生・卒業生への研究助成及び発表の場の提供は、本学創立 30 周年を契機とした記念事業として、大学院と学校教育学部の同窓会の連携により始動しました。修了・卒業後、教育現場において多様な問題に向き合い、研究を推進・発信し続ける姿勢は、同窓生相互の真の交流や啓発につながるものと考えています。

平成 22 年度は 1 名、平成 23 年度は 4 名が、選考の上、研究助成を受けています。体育カリキュラム、理科実験教材、保健室情報システムを開発する研究や、学習の姿から外国語活動の効果や自然観の比較に関する研究を行うなど、各々の専門性を生かし、特色ある研究テーマに取り組んでいます。今年度も研究助成の募集を行いますので、大学及び同窓会ホームページの募集要項やこれまでの研究テーマ・研究成果をチェックしてみてください。

会員の皆様が、この研究助成及び発表の場を活用されることで、教育研究の意味を分かち合いながら、共に教育の課題の追究・解決に大きな力を発揮されることを願っています。



大学院同窓会 理事
学校教育学系 准教授
古閑晶子

海外教育特別研究への支援

大学院同窓会では、大学で実施している海外教育特別研究 A・B の授業の支援のために平成 11 年度から助成を行っています。

海外で約 10 日間研修を行うこの授業では、外国での生活を通じて、その国の教育の実態及びその背景をなす文化に直接触れ、日本と異なる制度・内容等の理解の深化を図り、教育者として必要とされる広い視野や高い見識及び豊かな人間性の育成を図ることを目指しています。

海外教育特別研究は、ウエストミンスタースクール（オーストラリア・アデレード）やアイオワ大学・アイオワシティ（アメリカ・アイオワ）近郊の小・中学校を訪問し、英語により日本文化を伝える授業実践を行っています。

この海外教育特別研究を通して、本学からグローバルな視点を持ち、国際的に活躍する人材が育ち、教育界に貢献していくことを願っています。



大学院同窓会 理事
学校教育学系 准教授
赤坂真二

上越教育大学大学院同窓会事務局へのお問い合わせ先
E-mail:dousoukai@juen.ac.jp